

花時計

No.29

川村学園女子大学

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸1133番地
Tel.04-7183-0111(代) Fax.04-7183-0115
ホームページ <http://www.kgwu.ac.jp/>



出会いと旅立ち

文学部長 山本 由美子



YUMIKO YAMAMOTO

大学は交差点のようなものです。ここでの出会いはその後の人生に多大な影響を与えます。大学では教養を高め、自らの人生を切り開く準備をします。学生は、新しい友人を得て、環境の激変を経験し、一人の人間として世界に向き合うようになるでしょう。教職員もまたこの出会いから学びながら、人生の先輩として助言をし、困難の解決にむけては対等な立場で協力して、社会への旅立ちを助けようとしています。

いま世界は未曾有の困難の中にあります。日本にいる私たちは同時に世界と繋がり、否応もなくその変化にまきこまれています。頭をさげて隠れていれば、嫌なことは通り過ぎていくだろうという期待は、もはや現実性をもたないのです。いろいろな情報を十分な検討もせず、関係ないとか、自分にはできないとかの理由で切り捨ててしまっていないでしょうか。この困難を乗り越えるために必要な情報を取りこぼしたり、無視したりしたのなら、これは悔やんで

も悔やみきれません。チャンスは二度ないので。私たちは常に正しい決断をしているのでしょうか？すくなくともその努力をしているのでしょうか？

歴史から学ぶということは大変むずかしいことです。謙虚に事実を集め、先入観を排して客観的に分析する。そして最上の解決策を模索するというのは人生においても、社会においてももっとも重要なことでしょう。考えるのが面倒なんていつていられません。怠けるのが好き、逃げられるだけ逃げようなどといったすむものでもありません。現状は恩恵であると認識して、何ができるか、どうやって社会に貢献できるか考えてみようではありませんか。少なくとも私たちは言論の自由も信条の自由ももっています。教育を受ける権利も職業選択の自由もあります。自信をもって新しい旅立ちにむかっていきましよう。

鶴雅祭レポート

第22回 鶴雅祭を終えて

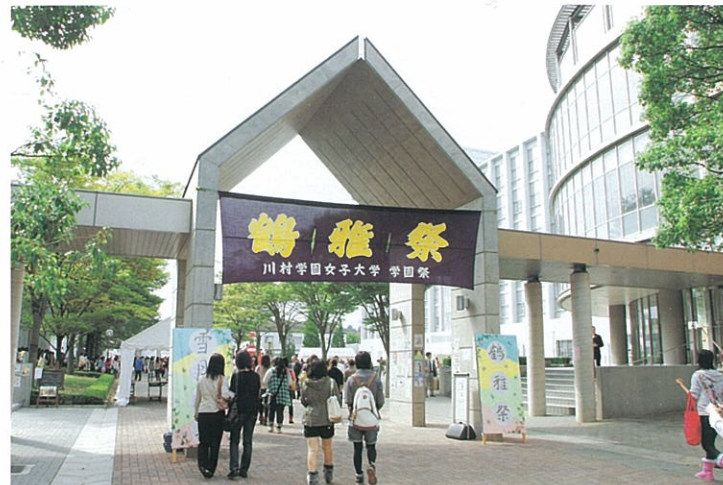
学園祭実行委員長 幼児教育学科3年 榎田 裕子

今年の鶴雅祭は、10月16・17日に開催されました。テーマは、四季折々の美しい景観を表す『雪月風花』としました。

今年は、両日とも天候に恵まれ、キャンパス内には、スタンプラリー、ふわふわなどを楽しむ子どもたちの姿が多く見られ、実行委員としてとてもうれしく思いました。土曜日は、上橋菜穂子先生の特別講演、日曜日には、大東俊介トークイベントを開催しました。来場者は、両日をあわせて3,100名を迎え、盛況のうちに終わることが出来ました。

来年は、今年の経験を生かし、さらに充実した鶴雅祭になるように期待しています。

最後になりましたが、実行委員を代表して、鶴雅祭を成功へと導いてくださった皆様に厚くお礼申し上げます。



文学部

●国際英語学科

土曜日には第15回目のスピーチコンテストを開催。留学先での体験や授業で調査した事などを英語でスピーチしました。1年生はレシテーションコンテストに挑戦しました。そして、日曜日は、カナダ人落語家桂三輝さんによる「川村寄席」English Rakugoを開催。大笑いの1時間でした。



●史学科

史学科は「Café d'Histoire」という喫茶店を催しました。内装にもこだわり、洋風の雰囲気が漂う素敵なカフェになりました。当日は衣装を着用して積極的に販売をしました。忙しくてあっという間の学園祭でしたが、リーダーシップ、企画力、コミュニケーション能力など、自分たちの意外な一面を発見できました。

●心理学科

心理学科は心理検査の体験コーナーや学科紹介などの企画で鶴雅祭に参加しました。心理検査では箱庭療法に多くの参加者が訪れ、また卒業生を迎えた在学生との懇談会では、就職活動や仕事の実践などについての体験をまじえた話を聞くことができました。



教育学部

●幼児教育学科

幼児教育学科では、ダンス・合唱・オペレッタの発表、「ちびっこ動物園」、「木の葉のスタンピング」を行いました。子どもたちや保護者の方が大勢遊びに来てくださり、楽しいひとときを過ごすことができました。



教育学部教授の上橋菜穂子先生の講演会が盛況でした。



●児童教育学科

毎年楽しみに学園祭へやって来る子ども達の為に、1年生が児童劇「桃太郎」をミュージカル仕立てに演出し参加。そのメイク、背景セット、振付などはアイデアも集まり、それぞれが力を合わせる事ができました。また会場内になつかしい駄菓子屋さんも企画して、大人の方達にも楽しんで頂きました。



●社会教育学科

社会教育学科では、高次脳機能障害者の相談・支援などの活動を行っているNPO法人「足立さくら会」と協力して、参加者も加わって「押し花ハガキ」の手作りに挑戦。喫茶コーナーでは、子どもから大人まで楽しめる漢字ゲームを提供しました。



●情報コミュニケーション学科

情報コミュニケーション学科は、日頃の学習の成果として、レゴロボットの展示を行いました。また、輪投げとヨーヨー釣りのイベントを行い、来場してくれた方々と一緒に学園祭を楽しみました。

学 科 ニ ュ ー ス

人間文化学部



●日本文化学科

今年の日本文化学科は、「かぐや」という名の和風喫茶を催しました。今まで話したことがない人と話すことができ、仲が深まり、大変充実した時間を過ごすことができました。皆様のご好意により、今年は完売いたしました！買ってください皆様、ありがとうございました。



●生活文化学科

女性の命の現状と支援活動を紹介するパネル展、授業内容を紹介する学科紹介、手作りマフィンの販売を行いました。「途上国の妊産婦と女性を守る」(国際協力NGO、JOICFP)のパネル展では、多くの方にご来場を頂き、毎日、約1000人の女性が妊娠や出産、HIVが原因で命を落としている現実を写真や解説にてその現実を知って頂き、女性の権利や生き方について改めて関心を寄せて頂いたようです。学科紹介では1年生の基礎ゼミナールのレポートや普通の学生の実習作品を写真や実物で紹介しました。基礎ゼミナールのレポートを熱心に読まれる方や本物そっくりの菓子のクラフト作品に多くの方が足を止めて下さいました。

毎年恒例の手作りマフィンも今年はプレーン、チョコチップ、紅茶の3種類を900個用意し、3号館前のテントで販売しました。学生の「売れるかな？」の心配をよそに完売しました。オリジナルMaking(クラブ)は、フェルト素材を特殊なニードルを使いモコモコ感を出した素材に変えて作った可愛い動物などの置物、アップリケを付けた不織布バック、ペーパークラフトのフラワーピン、ビーズのストラップを販売し、好評を頂きました。



●観光文化学科

Cafeではお茶を飲みながら我孫子市グルメマップやゼミの研究発表の展示を見られる空間を提供しました。また「あげたこ」の販売、マンゴージュースやパフェの販売は、行列ができるほどの人気でした。

鶴雅祭のクラブ活動

学園祭を終えて

軽音楽部

みなさん、こんにちは！軽音楽部です！！

我々軽音楽部は現在、3年生10人、2年生5人、1年生10人、そして、OGである4年生4人の29人で構成されています。

普段の練習は、各バンド週に1回練習日が設けられ、それぞれのバンドで練習内容を自由に決めて発表に向けて練習しています。発表する場としては、学園祭や新入生歓迎ライブなどの校内でのライブ、ライブハウスを借りての校外でのライブがあり、その予約や企画を部員が分担して行っています。

他大学との交流もあり、お互いの演奏を見に行ったり見に来ていただいたり他大学主催のライブに出演させていただいたりと楽しく交流しています。10月10日には聖徳大学フォークソングクラブの皆さんと合同でライブを開催し、とても楽しいライブになりました。10月16日、17日の学園祭でも2日連続1日中ライブ演奏を行い、とても盛り上がりました。

初心者ばかりでまだまだ未熟な我々ですが、毎日楽しく活動しています！興味のある方はぜひ一度遊びに来て下さい！ハマりますよ～！

箏曲サークル

箏曲サークルは今年の6月に出来たばかりの同好会です。3年生2名、2年生1名、1年生7名の計10名で活動しています。部員に1年生が多く箏の経験者も少ないですが、先生に指導していただき、また部員同士でも教え合い一生懸命練習しています。

まず基礎からしっかりと練習し、「さくら」などの簡単な曲から始め、徐々に難しい曲にも挑戦していきました。先日行われた鶴雅祭では茶道部とコラボさせていただきました。

練習は、5106教室で毎週火曜日と木曜日の16:00～から行っています。楽譜も爪も貸し出しますので、興味のある方は気軽に見学に来てください。お待ちしております。



●国際英語学科

今年度も10名の留学生を送り出しました。そのうち9名は4月からイギリスのChichester Collageに行き、半年間の留学を終えた5名の学生はすでに帰国しています。語学力に磨きをかけた彼女たちの成果は、学内のスピーチコンテストでも証明されました。残りの4名



は、来年の3月まで英語力アップと専門知識の習得に励んでいます。イギリス以外では、1名の学生が9月から1年間の予定でアメリカのロングアイランド大学に留学しています。写真はイギリスへ留学した学生がクラスの仲間と撮ったものです。

●史学科

史学科の多くの4年ゼミでは、今年も卒論合宿を行い、卒論の中間報告と見学を実行しました。見学は、梅村ゼミは奈良と京都、高津ゼミは国会図書館と東大図書館(カタイです)、生井澤ゼミは京都、西川ゼミは下関と萩、山本ゼミは伊勢神宮を中心に伊勢・鳥羽でした。写真は、遷都1300年に賑う奈良で、古代の装束を体験している梅村ゼミの学生たちです。



●心理学科

心理相談センターでは、大学院生を中心に学園祭にて施設見学を地域の方にさせていただく「オープンルーム」を実施しました。面接室、箱庭療法室、プレイルーム、集団療法室など施設の案内をしながら、心理療法やカウンセリングについても簡単な説明をしていくことで、心理相談センターをより身近に感じてもらえるようにしました。これからも地域に根差した心理相談センターとして、このような機会を設けていきたいと考えています。



●幼児教育学科

「音楽Ⅱ」の集大成として、鶴雅祭でのオペレッタ「白雪姫」の公演に向けた取り組みをしています。脚本・配役・演出・音響・衣装・大小道具などの舞台芸術に必要な役割を、自ら選択し実行することを通して、自己の潜在能力を知ること。また、担当教員に加えて各領域の教員から道具作成作業・色彩・ダンスなどのアドバイスを頂くことを通して、力を合わせより大きな力を生む協調性の重要性を学んでいます。



●生活文化学科

14号館3,4階の化学実験室や集団給食施設、調理室は昨年、完成し、本年4月より本格的に始動しました。

実験実習室のある4階は、解放感のあるウッドデッキのテラスが広がっています。このウッドデッキの一角に小さな温室があります。太陽の恵みと食育サークルの手入れを受けたミントやローズマリーなどの清涼感のあるハーブの香りは、幸福感和癒しのエネルギーで全身をくるんでくれます。この温室の壁に川村学園の87年の歴史が刻まれたプレートと川村短期大学のモニュメントがあります。文子先生が築かれた川村学園の歴史の中で育まれたミントを摘んでみました。調理実習で作ったデザート飾るために…。この香りから文子先生の凛とされた微笑みと、応援して下さるやさしさを今年も感じられました。

●児童教育学科

先の鶴雅祭において、児童教育学科教授上橋菜穂子先生の特別講演があり、年配の方から小学生まで100名以上の方々からの応募があり、北海道や福岡から飛行機に乗って来て下さったファンの方もいらっしゃいました。講演では、上橋先生の幼少時代から小中高校時代にかけての本との関わり、更には文化人類学研究への道に関心を抱かれたきっかけなど興味深いお話を聴くことができ、上橋先生の数々の名作が生まれた土壌や背景を垣間見ることが出来たのではないかと思います。講演終了後、学生研究室に会場を移し、ジャンケンで勝ち抜いた5名の方に、上橋先生から著書「獣の奏者 外伝 刹那」が自筆サイン入りで贈られました。通常のサイン会では叶わない、先生と間近で直接お話しや握手をしたり、又、世界数か国語に翻訳された「精霊の守人」、「獣の奏者」、「鼓笛のかなた」や、新聞雑誌に掲載された先生の記事などを手に取り見る事が出来て、みなさん喜ばれ、楽しんで頂いたようです。



●社会教育学科

学芸員取得科目の最終科目である「博物館実習」の授業で、展示実習を約2ヶ月に渡り学内で実施しました。今年の共通テーマは、「学校と教育」であり、私たちの班は「教育の歴史—江戸から明治へ—」ということで、当時の教科書や学制について調査・研究し、展示をしました。他の班では、「学校給食の歴史」や「制服の歴史」など15のテーマに分かれて展示がなされています。ぜひ、本学2号館の2階展示室へ観に来てください。



発表する上野恵里佳さん

●日本文化学科



留学生・黄虹甄さんがやって来ました。さっそく、9月29日、食堂で歓迎会をしました。目を輝かせて授業に出席しています。日本の文化に広い興味があり、友人もたくさん出来ました。日本人学生にとってもよい刺激になります。有意義な滞在でありますように。

●観光文化学科

現在、我孫子市と共同で「我孫子市グルメマップ」の作成を進めています。これは、我孫子市を訪れる観光客や我孫子市民の方々から市内の美味しいお店を紹介しようというもので、まず我孫子市役所の職員の方々と当大学の教職員・学生を対象にお店の推薦をしてもらい、挙がってきたお店に対してアンケート調査を行いました。その結果を踏まえて、今後マップを作っていくことにしていますが、中間報告として、先日の鶴雅祭で約60店を紹介する展示を行いました。

(先日『サンケイリビングかわわ』の取材を受けました)



14号館(12号館6階より10月撮影)

輝いている学生たち



史学科 4年 滝田 沙緒利

昨年11月から今年1月にかけて、千葉県匝瑳市で、千葉県弓道競技会ポスター・プログラム表紙図案コンクールがあり、一般の部で参加しました。最優秀賞1点、優秀賞が10点選出され、私は優秀賞をいただきました。



大学院 心理学専攻 2年 柳町 公美

私は、大学院にて心理学を専攻しております。大学生の時は、教諭免許取得のため実習やボランティア、軽音楽部、アルバイト、海外旅行、そして心理学研究を行い、その研究をもとに学会発表もさせていただきました。



全国区クラブカップの時 後列左から2番目が私です。

バレーボールに打ち込んでいます。

幼児教育学科 1年 塚本 稚菜

小学校から高校までバレーボールに取り組んできました。高校では春の高校バレー、国体に出場し、インターハイではベスト8まで進みました。大学入学後は、茨城県竹園市で活動している「あゆな」という20代から40代の幅広い年齢で構成されるクラブに所属し、全国大会であるクラブカップと国体の関東予選にも出場しました。得意な攻撃を生かし、チームに貢献していきたいと思っています。

全力投球です！

児童教育学科 3年 竹園 明日香

大学3年もすでに折り返し、入部したばかりと思っていた部活も幹部交代です。先日の学園祭まで部活のために大学に来ると言っても過言ではない日々を送ってきました。学園祭が終わって、今は所属している吹奏楽団の定期演奏会を実行委員として進める一方で、アルバイト先の塾では中学生の進路がかかっている期末テストに向けて授業にも熱が入ります。また、大学の近隣の小学校へ吹奏楽指導支援で週1～2回朝練にボランティアとして参加して教育現場に触れています。大学の授業もさることながら、今やっていることは必ず自分の将来のどこかで役に立つ！と信じて充実した日々を送っています。



図書館での職場体験

社会教育学科 4年 島袋 ろみな

私は我孫子市民図書館で、去年の5月から職場体験をしています。本の配架や返却カウンター業務に加えて図書の修繕など、多くのことを体験しています。授業で教わった事が仕事をする上での基盤となり、実際の現場の中でしか学ぶ事のできない司書の勉強をしている日々です。



日本の伝統 民謡・舞踊を次の世代に

日本文化学科 4年 金澤 瑞穂

私は幼い頃から、日本の民謡舞踊をやっています。一言で「民謡舞踊」と言っても、「日本舞踊」と思われがちですが、それとはまた違い、よく知られているものと最近映画にも起用された「よさこい鳴子踊り」や沖縄県の「エイサー」、北海道の「ソーラン節」等です。

私が入っている会の皆で、様々なコンクールに出場し、名誉ある賞(内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞など)をいただく事ができました。これも、会の先生方、両親、学校の先生方や友人等、周りの方の支えがあったからだ日々感じています。

活動としては、ケアセンター(老人ホーム)や養護学校に慰問に行かせていただいたり、NHKの番組に出演させていただいたり、とても貴重な体験を沢山させていただきました。

これからも、日本の伝統のひとつである民謡・舞踊が無くならないよう、日々お稽古に精進し、踊り続け、次の世代にも伝えていきたいと思っています。



バリ舞踊で卒業研究

観光文化学科 4年 横山 翔子

大学では、ラクロス部に所属しマネージャーとして活動をしています。部活では練習メニューがスムーズに運ぶように準備をし、夏休みにはOGの先輩が教えているチームと合同練習を行いメンバーをサポートしました。

それ以前には、3歳のころからバレエを習い始め、今年で18年目を迎えました。始めたキッカケは幼い頃に体が弱く病氣ばかりしていた為、両親が「少しでも体力がついたら」というものでした。バレエから得たこと、学んだことはたくさんあります。体力はもちろん、舞台ならではの挨拶などの礼儀・仲間を思いやるチームワーク・“舞台の成功”というひとつの目標に向け全力で努力すること、また技術だけでなく妖精役なら妖精になりきりお客さんをその世界に惹き込む演技力も必要であることを学びました。学科では、“東及び東南アジア”のゼミを専攻しているので、自身の踊りの経験に加え、自分にしか出来ない卒業研究にしたいと思い「バリ舞踊」を踊り発表することとし、そのまとめの論文をつくり卒業研究とすることに決めました。

生活文化学科 2年 白倉 絵実

私は現在、地域活動としてビーチバレーボール(ソフトバレー)をやっています。きっかけは小学校の同級生に誘われて、1年の夏休みから始めました。同級生やそのご家族、小学校に通うお子様のお母様方と一緒に練習しています。最初はボールから逃げたりうまく打てなかったのですが、練習を積み重ねていくうちにコツをつかみレギュラーに入れるようになりました。ただ力強く打てば良いというものではなく、ボールの回転や空気抵抗などを考えながらプレーするので、とても奥深いスポーツだと思います。

今年に入ってから近くの小学校のチームと一緒に練習して、ベテランのおじさま方に鍛えていただいています。

写真は2010年6月の試合で2位になった時のです。強豪チームが沢山いる中で2位になってとても嬉しかったです。これからも定期的に練習に参加して向上していきたいです。



アカペラ研究会

こんにちは、アカペラ研究会La Musicaです。私たちは現在、顧問の尾見先生のもと3年生4名、2年生3名、1年生2名の計9名で活動しています。メンバーの半数以上が初心者ですが、みんな歌が大好きで、楽しく仲良くなりたいという気持ちで週2回集まっています。

歌う曲は主に女声3部で、ジャンルはジブリやディズニーといったポップスから、わらべうた、ハンガリーの宗教曲に、流行りのJ-POPなど幅広く、学内のコンサートや我孫子市内のイベント、千葉県合唱連盟主催の合唱祭などにも参加しています。写真は、10月の鶴雅祭で歌った時のものです。

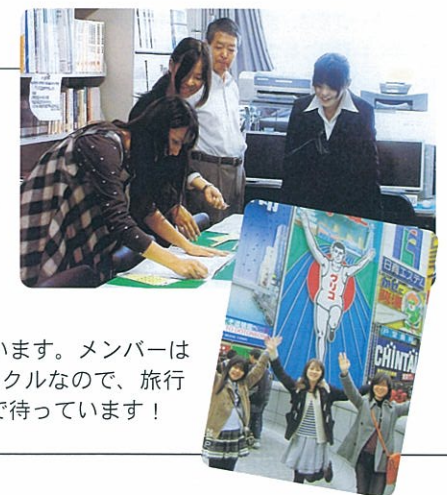
みなさんも、私たちと一緒に歌を楽しみながら、活動的な大学ライフを送ってみませんか？

ツーリズム&ホスピタリティ研究会

こんにちは！ツーリズム&ホスピタリティ研究会です。難しい名前だなあと思うかもしれませんが、主な活動内容は、自分たちで企画して旅行に行ったり、おもてなしを学ぶために課外で見学をしたりすることです。

去年は、はとバスツアーに参加して鎌倉に旅行に行ったり、日光に一泊二日で観光に行ったりしました。また今年の春には夜行バスで大阪に行くなど、たくさんの所を旅行しています。他にも一度入院してみたいと言われる、ドラマの舞台になった亀田総合病院を見学させてもらったり、我孫子のグルメマップの作成を手掛けたりなど、幅広く活動を行っています。

私達のサークルは少人数ですが、先輩や後輩の仲も良く、一緒に旅行にも行っています。メンバーは観光の学生が大部分ですが、他学科の方も大歓迎です！明るく楽しい雰囲気のできるサークルなので、旅行などに興味がある方は気軽に見学に来てみてください。火曜日のお昼休みに第2中で待っています！



卒業生は今

●●● MAILBOX

伊藤 恵加

史学科 2009年卒



私は今年3度目の採用試験で、来年の4月から新潟県中学校社会科で採用されることになりました。卒業後は採用試験の勉強を続けました。しかし現場での経験がないことが自信のなさとになっていることに気づきました。そこで非常勤講師となり、とにかく生徒の中に入って一緒に活動し、先生たちに分からないことは積極的に聞いて、常に自分のできることを探しました。その経験が自信となりました。現在は2年生の副担任として、合唱コンクールに向けて生徒と練習に励んでいます。私は明るく元気に、人との出会いを大切に、周りの人たちに感謝する気持ちをもって頑張ります。

石山 さやか

心理学科 2010年卒



私は現在、地元の農協の信用窓口で働いています。農協という肥料や農業などを主に扱っているというイメージが多いようですが、実際は、お金の入出金や定期貯金・定期積金の管理、税金のとりまとめ、建物共済医療共済なども扱っており、幅広く事業を行っています。私の職場は上下関係がとてよく、居心地の良い職場です。就職氷河期ということもあり、何度も就職を諦めましたが諦めず頑張って良かったと思います。これからこの仕事を続けていきたいです。

渡邊 小百合

幼児教育学科 2010年卒



私は現在、幼稚園教諭として働

いています。正直、はじめのうちは子ども達から「先生」と呼ばれることに違和感がありました。しかし今では、「先生」と呼ばれる度に幼い頃からの夢が叶ったことに喜びを感じ、また、それと同時に子ども達の命を預かる責任のある仕事だと実感するようにもなりました。

仕事は、毎日失敗だらけで挫けてしまいうような時もありますが、そんな時は、同じように頑張っている川村の仲間がいることで励みになります。今の私は、幼い頃憧れた先生に少しでも近づけるよう「毎日笑顔」をモットーに精一杯頑張っています。

社会人になった今、川村の卒業生で本当に良かったと心から思っています。

伊藤 多恵

情報教育学科 2008年卒



皆さん、携帯電話でブログやサイトを見ていますか？そのページには画像や文字などの広告がありますか？私は現在池袋にあるモバイル広告関連の会社に勤めています。皆さんが見ているページや興味を持ってクリックした広告には私達が関係しているかもしれません。社会人になって3年目ですが、流れの速い業界ですので、常に研究をし、多くのことを学び続けています。この仕事の基礎になったのは、大学で学んだプログラミング技術やコミュニケーション学などで、様々なことが現場の仕事に役立っていると改めて実感します。今この仕事が充実して出来ているのは、在学時ご指導下さった先生方のおかげです。本当にありがとうございます！責任ある仕事ですので辛く理不尽なこともあり、たまに心が折れそうになりますが、上司や同僚、学生時代の友人などたくさんの人に支えられています。今後は

これらの皆さんに恩返し出来るよう頑張っていきます。

牛山 奈美

日本文化学科 2010年卒



私は法律事務所で事務員として働いています。書類作成が主な仕事となりますが、法律の専門用語が多いので戸惑うこともしばしばです。ひとりでできる仕事はまだごくわずかです。電話応対もひとりで処理できず、先輩事務員や弁護士に助けをもらう場面が多く、未熟さを感じます。実務経験2年が経つと、事務員の資格試験を受験することができそうです。これから先、少しずつ経験を積んで成長していきたいと考えています。その上で、資格試験に挑戦してみたいです。

亀山 瑞香

生活文化学科 2009年卒



私は現在、都内のクリニックで医療事務をしています。主な業務は受付、会計、電話対応等を行っています。医療事務の仕事は、受付にだけでなく、全ての患者さんの状況を把握することが大切です。自分だったらどうされたいのかを考えて行動に移す確かな判断をし、少しでも役に立てよう心がけています。

医療事務の仕事に就いて、良かったと思うときは、病氣など医療に関する知識が増えたこと、患者さんと接する人と人との触れ合いの温かさを感じられるとても素敵な仕事に携わったことです。これからも、経験を積み、日々精進していきたいと思っています。

女性学研究所 シンポジウム：パパトーク報告

女性学研究所所長 内海崎 貴子



2010年10月17日(日)11時から13時まで、14号館大教室において女性学研究所主催第8回イベントとして、シンポジウム：パパトーク「パパの笑顔が社会を変えるー子育てでも仕事も地域も一緒に楽しむ生き方ー」を開催しました。今回は、NPO法人ファザリング・ジャパン (FJ) のメンバーで、子育て中のパパ久留島太郎さんと高橋祥彦さんをお招きしました。ファザリングとは、「父親であることを楽しむ生き方」です。現在、FJは子育てパパ力検定をはじめとして、ファザリングスクールの開催、「産後うつ」

のママをサポートするベギンパパ・プロジェクトなど様々な活動を行っています。

パパトークでは、まず、高橋パパから「子育てとワーク・ライフ・バランス」について、詳しい資料に基づいたお話がありました。高橋さんは妻からの手紙がきっかけで、仕事中心の生活を見直し、子育ての時間を確保、規則正しい生活で健康になったそう

です。久留島パパからは「地域と子育て」について、豊富な体験と資料に基づいたお話がありました。子育てには、子どもの居場所である地域に関わる必要不可欠だということです。お二人には、事前に、本学学生へのアンケート結果をお送りしておきましたので、後半はその結果についてのお話でした。お話の後、パパ検定や参加者とのやりとりがありました。「兄が就活中ですが、育児休業が取れるかどうかを企業に聞いている訳が分かりました」という感想や「イクメンを探すにはどうしたらよいか」という質問が出ていました。

このイベントには本学教職員をはじめ、大学院生や学部生、保護者の方々、外部の方々など約30名が参加しました。昨今の経済状況の中、もはや共働きは当たり前になっています。また、子どもの育ちには、多くの、様々な人々に関わる大切で、子どもにとっても、親にとっても、地域社会の人々にとっても、子育ては豊かな人間関係を築ききっかけになるのではないかと考えたパパトークでした。

編集後記

- 「輝いている学生たち」も2回目です。個性豊かな学生を発見できて嬉しいです。(M.N.)
- 鶴雅祭では、OGが何人も学科を訪れてくれました。皆さんの幸せを祈ります。(H.U.)
- 大学の現況を知るととても良い機会となりました。(K.K.)
- 今年もまた新しい発見がありました。来年も何か見つかると思います。(H.M.)
- 原稿集めの時期は、卒論生も追い込みに入る頃でした。よき卒論の完成を！(T.I.)

発行日/平成22年12月8日第29号発行
制作/川村学園女子大学広報委員会

BOOKS

丹治 朋子 十代田朗 編著

(観光文化学科 准教授)

『観光まちづくりのマーケティング』

(「地域のホスピタリティ」を執筆担当)

地域が主体性をもって観光客をどのように誘致するのかについて、マーケティング、ブランディング、プロモーション、MICE、ホスピタリティに焦点をあてて解説しています。

●2010年11月発行 ●学芸出版社

今井久美子 共著

(生活文化学科 准教授)

スタンダード人間栄養学
『応用栄養学』

●2010年9月15日発行
●朝倉書店